

## 申し合わせ事項

1. ①②③④⑤部門は1標的A B・C Dの2立ちとする。  
2分3本、A B→C D→矢取り→C D→A B→矢取りの順序にて行う。  
練習は行射と同じ順序で、2回行う。  
各部門ともリカーブは80 c m標的面、コンパウンドは80 c m6リング標的面を使用する。  
前半36射、後半36射、合計72射行う。
2. ⑥⑦部門は1標的A Bの1立ちとする。  
4分6本、A B→矢取の順序にて行う。  
練習は行射と同じ順序で、2回行う。  
各部門ともリカーブ、コンパウンドともに80 c m標的面を使用する。  
合計36射行う。
3. 何らかのトラブルで行射が中断されたときは、トラブル解消後、1射につき40秒間を与え、再開する。  
ただし、弓具故障の対応時間は最大5分間とする。
4. 行射終了後はスコープを覗くなどはせずに、速やかにシューティングラインから離れること。  
また、車椅子等の選手は弓を膝の上に置き、行射終了が審判員にわかるようにすること。
5. 看的は相互看的を原則とする。  
また、行射に際して介助者が必要な場合は、各自で手配すること。
6. 時間管理は、電光掲示及びブザーによって行う。
7. スコアカード提出時は、必要事項をもれなく記入し、集計チェックを行ってから提出すること。
8. その他、競技進行に関しては審判長の注意・指示に従うこと。